

## 春日町図書館 図書館利用者懇談会

- 1 日時 令和5年11月7日(火) 14時～15時半
- 2 場所 春日町図書館 2階 会議室
- 3 参加者 利用者 15名  
図書館 3名  
(春日町図書館長、館長代理1名、書記1名)
- 4 テーマ 「これからの春日町図書館を考える」
- 5 配付資料 (1) 教育要覧(図書館の所蔵資料数、利用状況)  
(2) 主な春日町図書館事業 4年度下半期～5年度上半期  
(3) これからの図書館構想概要  
(4) 春日町通信(11月号)  
(5) feel me(9月号)  
(6) 利用者懇談会アンケート  
(7) 春日町図書館オリジナルしおり
- 6 次第 (1) 春日町図書館長挨拶  
(2) 図書館職員紹介  
(3) 図書館概要説明  
(4) 懇談  
(5) 春日町図書館長挨拶

### 春日町図書館利用者懇談会 会議録

#### 1 春日町図書館長挨拶

みなさまこんにちは。春日町図書館の館長です。私から、一言ご挨拶をさせていただきます。日頃より地域の皆様、利用者の皆様には春日町図書館の運営にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

今回、懇談会のテーマを「これからの春日町図書館を考える」に設定させていただきました。新型コロナウイルスも5類に移行し、それに伴い地域のお祭りなども再開され、色々なことがコロナ禍以前の状況に戻ってきていると感じています。

そのような中で、これから春日町図書館に望むこと、期待することなど皆様から様々なご意見を頂戴したいと考えております。

また、1月には当館のエレベーター工事も実施予定となっております。この件つきましても、ご質問がございましたらお答えしたいと思っています。

なお、今回の懇談会ですが、お時間を15時半までとさせていただきます。また、館独自では回答が難しい区立図書館全体に関することについては、光が丘図書館にその内容を伝え、

後日、光が丘図書館と調整の上ホームページで回答させていただく予定です。また、宜しければ11月11日(土)に行われます、光が丘図書館での懇談会にご参加のうえ、質問をしていただければ、適宜回答があると思います。それではどうぞよろしくお願いいたします。

## 2 図書館職員紹介

春日町図書館長、館長代理、書記

## 3 事業紹介等

- (1) 教育要覧抜粋の図書館の所蔵資料数、利用状況の紹介  
所蔵資料数、利用状況等  
個人貸出点数 45万2085点、個人貸出予約点数 13万5112点  
対面朗読の利用時間数 392時間 会議室の利用件数 363件  
ギャラリー利用日数 8日
- (2) 4年度下半期から5年度上半期の主な春日町図書館事業について
  - ・地域、関連施設との連携事業
  - ・練馬区との連携事業
  - ・ギャラリーを活かした事業
  - ・各種講座、読書支援事業
  - ・ハンディーキャップサービス事業
  - ・ボランティアとの連携事業
  - ・その他子供向け青少年向け事業
  - ・情報発信
  - ・学校支援事業
- (3) エレベーター工事について

## 4 懇談

**利用者** 支援事業として、学校へ学級文庫を一クラス40冊セッティングして、届けているって伺ったんです。それで管理員の先生に、学級文庫って春日町図書館にお願いしてるんですかって聞いたら、司書教諭の方と管理員さんと決めているらしくて、春日町図書館にセットをお願いしているようではなかったんですね。

だから春日町図書館の担当校の中では自校で学級文庫をセッティングしているところと、春日町図書館のほうから持って来ているところがあるのかなと思って、今日はそういうことを伺いたいなと思って参りました。

**利用者** わたくしはおはなし会に関わっております。コロナ前はおはなしのへやで開催していて、親子さんが熱心に通ってくれていたのに、今、会議室でやるようになってから参加者がだんだん減って、とても少ないのが残念で、何とかしたいなあと思っております。

**利用者** 私はほぼ毎日来ております。私は大学に行くために都心に出て、大学の図書館にすごく驚きました。これはもう知の宝庫だと思いました。

そして、こちらに戻ってきて、この辺には書店がないって母に文句を言ったんですね。そしたら、サミットの上に図書館あるの知ってる？って言われて、えーって。私、南から10分かけて来るんですけど、サミットの看板はあっても、春日町図書館っていう看板は向こうにはありません。誰もここに図書館があるってことをPRなさらないんじゃないかって思ったんですね。

でも私は公立の図書館の貧弱さ、申し訳ないんですけども、大学の図書館と比べてね。図書館は町の宝物、でも宝の持ち腐れではないのかって思った時もありました。

母は、一度もこの図書館を使いませんでした。大正8年生まれなので、図書館の使い方が分からないんです。敷居も高いんです。多分ね、入ったと思うんです。でもどうしていいかわからない。そういう人たちっているんじゃないかな。

区民の何パーセントの人が利用しているのか。たぶん7割くらいは利用していない。色んな理由があるでしょうね。でも、私たちの税金で、社会教育の一環として行われている図書館に、あんまり人が来ないっていうのはやはり問題ではないのかと。議会には図書館ってほとんど議事に入らないそうです。

いろんな事業をやっているのは素晴らしいなとは思いますが、図書館は、読書です、やはり。それを骨格にして色んな活動をするっていうことを考えていってほしいなって私は思います。

でやっぱりね、書店がなさすぎるんです。本を入れるなら地元の書店を使って入れて、一緒に繁栄していくとかね。色んなものとの組み合わせで住んでる町がよくなればいいなっていうふうに思って参加しました。

**利用者** 懇談会に向けたアンケートをとりましたので、発表します。回収したアンケートは26人分でした。

『図書館を利用したことがありますか』では、時々利用する人が14名で最も多く、利用しない人は5人でした。『図書館の貸出期間について』では2週間がちょうどいい人が多かったのですが、1か月や2か月に延ばしてほしい人もいました。『図書館で不便を感じることはありませんか』では「お話ができないこと」があります。私たちは本の内容が理解できない方もいるので、説明してもらいながら本が読めることが必要なことがあります。対話できる場所があるといいと思いました。『図書館でこうなったら便利だなと思うことはなんですか』という質問では、話しながら本が読める空間があったり、探したい本がわかりやすいといいなと思います。相談する事ができない人も多いので、相談に乗ってくれるひとがいると嬉しいです。例えば何を知りたいかを話したらこんな本があるとか、話ができるといいです。

私は図書館が好きなので、もっと便利になるといいなと思います。以上です。

#### 利用者

文字を読んでそのままスッと理解できる方たちばかりではなくて、図柄や写真を見て、これなあにとやりとりをしながら中身を理解していくという方もたくさんいます。ですので、そういうことができないと、なかなか図書館利用が進まないかなあと。小声でも、支援者の人や図書館の職員さんとね、会話を通して、本を好きになっていくという場があるといいな。

#### 図書館

外から見てわかりづらいという件ですが、確かに位置によっては春日町図書館の表示がないところもあります。ただ、当館は窓が広いので、外に向けてアピールをしようという取り組みも考えています。今回、恐竜絵本の作家さんに、恐竜の絵を提供していただいたので、それを拡大して、窓の外に向けて貼って、興味を持ってもらうとか。

他の自治体もそうではないかと思うんですけど、利用カードの普及率が2、3割、多くても4割というのが図書館の現状かなと思います。確かに来ていただいている方に対してのサービスはかなりがんばっているんですけど、実際足を運んでいただけてない方へ、どういうふうに図書館を知っていただくかも課題になっています。例えば『はたけのとしょかん』という事業で、高松にある畑でおはなし会をした時に、図書館の紹介をすると、近所だけ春日町図書館に行ったことがないという方も多くいらっしやって。積極的に発信していく取り組みも必要かなと思っています。

働いている側だと、看板のことも含め、気づかないこともたくさんありますので、懇談会や利用者アンケートで色々ご意見を伺って、改善していければと思っています。

あと、やはり大学図書館と比べてしまうと専門図書はかなり少なくなってしまう。春日町図書館は、利用者の数は多いですが、規模としては中規模館です。蔵書数もすごく多い方ではないので、ある一つの分野に特化したものをたくさん集めるより、幅広いジャンルをまんべんなく収集するという方針で集めています。リクエストしていただいた本はなるべく所蔵するとか、他の自治体からお借りして提供しております。ただ、そういうことも知らないという方もいらっしやるので、こちらからのご案内や発信も必要だと思いました。

#### 利用者

デジタルサイネージの話をもうちよっと詳しく聞きたいなあとと思っています。

#### 図書館

図書館の入口にテレビのような大きいサイネージがありまして、今は全国都市農業フェスティバルの周知と、毎月の図書館の行事カレンダーと、ねりま若者サポートステーションさんのご案内を流しております。

パワーポイントで画像を作っただき、それをこちらで編集して流すという感じになります。タッチパネルではないので画像が流れていく仕組みです。もし他の施設さんでも情報発信したいっていうところがありましたらぜひご相談

ください。

**利用者** 5、6年前に光が丘図書館で金原瑞人さんの講演会がありまして、日頃こんなに人が集まるかって思うくらい集まって、とても面白い公演をやっていただいたことがあって。で、ここもそういうものをやっていただけるならば。

まあ、林真理子さんはダメですよ。たぶんね。高いでしょうね。

**図書館** 林真理子さんは、そうですね。

**利用者** もうちょっと読書の楽しみに繋げてくださるような方を呼べば、思いがけぬ方がここを訪れるかもしれない。そういうきっかけで公立の図書館行ってみようかなっていう人が増えてくだされば、その方の支払ってくださる税金も少しは報われるのではないのでしょうか。

私はやっぱり、多くの方のそういうもので成り立っているのだから無視してほしくないし、来た人だけに向けてっていうのはちょっと違っているような気がします。

**図書館** 以前、絵本作家さんや芥川賞作家さんをお呼びしまして、参加していただいた方にはかなりいい講演ではありました。最近、他館で絵本作家さん同士の対談をした時に、サテライト会場を作って配信をして多くの方に見ていただくということもありましたので、そういうのも考えて。

**利用者** 区長とかを使ったらどう。区議会議員の人に来ていただくとか。とにかくあるものは全部使うくらいの気持ちで。

練馬城址公園の真ん中に図書館が建ったら良かったのになって思ったりもした。今更と思うんですけど、やっぱりここ、来ますかね？この図書館。本当にみんな知ってるんでしょうか。来る人は来るですよ。私毎日来てるんだから。でもそれ以外の方にどう使っていただくのか。

**利用者** 図書館に来てもらう第一歩がブックスタートだと思っています。お母さんが初めて図書館に赤ちゃん連れてきたときに、ただで本借りられるんですかっていう方も結構いらして、私たちもびっくりしたんですけども。で、まずはそこが第一歩。子供連れて図書館に来てみて、あ、こんなところなんだっていうのがわかったら、あとはどれだけ居心地がいい場所であるかっていうことをアピールすれば、年をとっても来てもらえるんだらうなって思います。

**利用者** 老人が増えてきています。昔は移動図書館があったんです。図書館は12館に増えたとは言っても、年を取ってからは歩いて行くには大変な場所しかないもので、移動図書館が、どっか着いてくれるといいなあと考えています。

**図書館** 移動図書館の代わりとして受取窓口を増やしていると聞いております。

私の地元にも移動図書館はありますが、すごく利用があるところとないところがあったり。ただ、アンケートでも足が悪くて図書館に来られないというご意見がありますので、高齢の方向けのサービスとして、移動図書館もいいなとは個

人的には思います。

**利用者**      なんか図書館って学生の時は使ってたけど、大人になるにつれだんだん使わなくなるみたいな。

大人の学習のための図書館利用があってもいいんじゃないのかなっていうのはすごく思ってる。もっと本を探しやすくなるというか、使いやすくなる、漠然としてますけど、そういうのがあると利用が増えるのかなっていうか。良い本たくさんありますから。どんどん活用すればいいのになっていうのはすごく思うんですよね。

**図書館**      特集展示ですとか、今回発足した『大人の自由研究部』ですとか、蔵書を活用していただく取り組みも必要だとは思っております。あとは、ドーナツ型の書架なので、どこに何の本があるかわかりづらい傾向ではあります。なので見出し板や掲示を増やしたりですとか、初めて来た方にもわかりやすい表示を心掛けてはおります。

ただ、どうしても、利用者さんから見てわかりづらいというところが出てくると思うので、こうしたご意見をいただけると、改めて職員の中でもそういう視点で見直す機会になると思います。ありがとうございます。

**利用者**      大学図書館がいいってというのは、ひとつはレファレンスなんですよ。参考係に行くとき色んなことを答えてくれるし、自分では探り得ない検索機能を使って探し当ててくれるんですよ。

で、光が丘図書館には一つ席があって、参考係があるんです。練馬図書館にも。春日町図書館には「相談」って書いてあるんですよ。え、相談ってなんなんだろうって。もしできれば「あなたのお探しになる本必ず見つけます」ぐらいのこと書いてですね、「探し方を教えます」でもいい。今、検索できる人も少ないでしょ。しかも練馬区にある図書だけは見れるけど、それ以外になるとカウンターに行くことになるので、自分でもうちょっと自立できる場所はやって、それ以外のところはレファレンスに行きたいって思っちゃうんです。そんなもの必要なしって人もいるかもしれないけど。

すごく大事な図書館の機能っていうのは守ってほしいなって思います。常時いないんですよ。誰かが来てくれるかもしれないけど、あそこに誰も座っていないんですよ。大変ですよ。限られた人の中で。専門でない方もいらっしやるのかしら。パートの方とか。

**利用者**      春日町図書館のレファレンスはどうなっているんですか。専門担当者がいるのか。

**図書館**      専門担当者というのはいません。レファレンスカウンターに座る職員は、一日の中でジョブローテーションで決めています。ただ『夏休み調べもの応援隊』という事業を行なった時は、子供だけでなく大人の方からもご質問が多かったの

で、聞きたいけど誰に聞いていいか、どこに聞いていいか分からないという方は多くて、レファレンスに対するニーズは高いなとは思っています。

春日町図書館はカウンターが並んでいて、一番はじめが「とうろく・そうだん」コーナーですが、「お調べします」みたいな、利用者さんにわかりやすい表現で表示をするなどを検討します。

**利用者** 会議室の窓ガラスなんですけども、分厚い遮光カーテンと窓の間に、レースのカーテンがあったらどんなにいいかなって。開けると日差しがすごくて眩しいし、外から誰が座ってるか丸見えなんですね。もし機会や予算などがあればお願いしたいです。

**図書館** わかりました。こちらもちよっと検討させていただきます。

**利用者** 光が丘地区は外国人の方がだいぶ増えてますが、この辺の利用者はどうなんでしょうか。

**図書館** それほど多くはないと思います。近くの日本語学校に通われている方がたまに来館されたり、韓国語の本を借りたいと仰る方もいるので、利用がないわけではないんですが、すごく増えているという感じはあまりしません。

ただ、外国語の書籍を増やしてほしいとか、イベントをしてほしいとか、ご要望はあります。子供向け事業の『英語おたのしみ会』にもかなり利用者さんが集まりますので、ニーズは高いなと感じております。

**利用者** 声を出さないと本の内容を理解できないっていう方がいたときに、実際、つぶやき程度でも声を出すということが、可能なのかわかっていうかね。検討できることではそもそもないんだとかね。そういうこと伺わせてもらえるといいなと思ってます。

**図書館** 確かに図書館は、昔は静かに本を読む場所だったんですけども、最近はコミュニティ機能を併せ持つ施設といえますか、コミュニケーションをとるためには発話が必要ですので、発話も可能な空間を作っていく対応になると思います。春日町図書館では、ラウンジでお話ができますので、そちらをご案内したりですか。

新しくつくられる図書館なら、区切ったスペースもあると思われんですけど、既存の図書館でワンフロアですので、好きに喋っていいですよっていうのは、難しいかなと思うんです。今回実施します『グループ学習室』も、発話を可とした会議室の開放ですので、好評でしたら機会を増やして、年に何回かできたらなと思っています。

**利用者** そういう志向性はあるということですね。対立しないと。検討の余地ありと。

**図書館** そうですね。はい。

**利用者** 子供も、これなに、どういう意味って聞いて、お母さんが答えて、親子の触れ合いがあるっていうのは大事なことです。ちょっと話しながら使う、そういうス

ペースであること、それを締め出さないというのも大事な図書館の役目なんだろうと思います。

で、例えば対面朗読室が開いている時はそちらにご案内するとか、そういうことができますよ、ご相談くださいみたいな、一言あるといいのかなって思ったりしました。

#### 利用者

図書館が今すごく色々な事に関わっている。それはとてもいいことなんですが、図書館側から見ると人が増えるわけでもない、でも仕事は増えていく。イベントもすごくたくさんやっていますよね。

でも、図書館の昔からの機能もとても大事で、私はそれが図書館の命じゃないかと思っている。蔵書構成とかレファレンスっていうのが一番大切な場所だと思うんです。

だから、そういうことを全てやっていくのはとても難しい。両方を取り合いながらやるためには、図書館の人数を増やすとか、環境を良く整えるとか、いろんな条件が出てくるんじゃないかなあと思っています。

声の問題でも、どれくらいが本当に邪魔になる声なのか。ギャーギャー騒ぐのは困るけれども、普通に親子の会話だったり情報を聞くのは、もうそれはうるさいとかそういうものではないと思うんです。その辺のところもね、やっぱりみんな考えていかなきゃいけないんじゃないかなあとは思っています。

これからの図書館に期待する事っていうのは、そういうことを全て解決するんじゃないくて、やっぱりどこかを切っていく、充実させていく、守っていくとかしないと。

春日町図書館が大事にしていくことは何なのかを考えていくことが大事ではないかなと思います。

#### 利用者

春日町図書館では各学校への学級文庫をどういうふうなセッティングにしているのか聞かせていただきたいなと思います。

#### 図書館

学級文庫は担当校が小学校6校、中学校が2校あります。全クラスに送っているのは小学校3校です。長年2校だけだったんですけど、今年から新たに1校送ってます。学級文庫のバラエティとしては、同じ学年でも読める子と読めない子がいますので、幅を持たせて読み物と科学系の知識の本、あとはエンタメの本、絵本、昔話とか色々なものを混ぜて送ってます。

#### 利用者

子供ってやっぱり10歳ぐらいから伸びるのではないかと思うので、あまり子供扱いしなくてもいいんじゃないかなって気がするんです。大きな枠の中で育つものは育っていくっていうような図書館のかたちは理想かなって思いました。使いようによっても公共図書館は人の人生を変えるかもしれないと思いました。



**図書館** 他に、ご意見等ございますか。それではお時間となりましたので懇談会を終了させていただきます。

#### 5 春日町図書館長挨拶

本日はお忙しい中、ご参加いただきましてありがとうございました。利用者アンケート並びに、本日頂いたご意見を踏まえ、春日町図書館の運営、サービス向上に努めていきたいと思っていますので今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。